

第3学年 特別の教科 道徳 学習指導案

対象 第3学年2組

指導者 宮本 晴加

- 1 主題名 みんなの使う物 [内容項目] C 規則の尊重
 教材名 「黄色いかさ」(出典：東京書籍 新しいどうとく③)

2 本時について

(1) ねらい

みんなが使う物を大切にし、人に迷惑をかけない心情を育てる。

(2) 本時の展開

	主な発問(発問○ 中心発問◎) 予想される児童の反応(C)	・指導上の留意点 ◇評価規準(評価方法)
導入	<p>1 みんなで使う物にはどんな物があるかを考える。</p> <p>○みんなで使っている物にはどんな物がありますか。(尊)</p> <p>C学校のボールや鉄棒、掃除の道具、傘</p> <p>C図書館や児童館</p> <p>C公園のトイレやベンチ</p> <p>C駅やバス停</p>	<p>・学校の「貸し出し用の傘」や、「掃除用具入れ」等の写真を掲示し、みんなで使っている物の片付け方について確認できるようにする。</p>
展開	<p>2 教材「黄色いかさ」を読んで話し合う。</p> <p>○学校の帰りに、駅の黄色い傘を借りて家に帰った大助は、どんなことを思ったでしょう。</p> <p>Cみんなが使える傘があって、便利だな。</p> <p>C茂くんは、使っているのかと言っていたけど、誰でも借りていい傘なんだな。</p> <p>○お母さんに傘を返すように注意された後、大助はどんなことを思っていましたか。</p> <p>C面倒くさいな。そのうち返せばいい。</p> <p>C一人ぐらい返さなくても大丈夫だろう。</p> <p>◎おばあさんから黄色い傘が1本もないと聞いた時、大助はどんなことを思ったでしょうか。(言)(表)</p> <p>C黄色い傘を返しておけば良かった。</p> <p>Cお母さんに注意されたときに、すぐ返せば良かった。</p>	<p>・主人公の状況を捉えやすくするため、場面絵を用いる。</p> <p>・黄色い傘は、誰でも使って良いことを確認する。</p> <p>・大助の自分勝手な思いに気付くことができるように、大助の表情や言動を板書で掲示する。</p> <p>・みんなで使う物を大事にしていることを自覚したときの気持ちを考えられるようにする。</p> <p>・大助の表情に注目させ、気持ちを考えることができるようにする。</p>

	<p>C自分勝手な行動をしてしまった。 C他の人に迷惑なことをしてしまった。 Cおばあさんに悪いことをしてしまった。</p> <p>3 これからの自分の生活について考える。 ○みんなで使う物を、これからはどのようなことに気をつけて使っていきますか。 C借りた物は必ずすぐに返す。 Cルールや約束を守って使う。 C他の人のことを考えて使う</p>	<p>◇おばあさんの言葉を聞いた時の大助の気持ちを、多様に考えている。(ワークシート)</p> <p>◇「みんなが使う物」の使い方について、規則を尊重して行動することの良さを考えることができている。 (ワークシート)</p>
終末	<p>4 きれいに片づけられている「傘立て」や、「掃除用具入れ」の写真を見る。</p>	<p>・みんなが約束を守っているから気持ちよく生活ができている例を紹介し、約束やきまりを守ろうとする気持ちを高める。</p>

(3) 板書計画

<p>☆これから・・・？</p>	<p>場面絵</p>	<p>大助の思い</p>	<p>場面絵</p>	<p>まだ返していない</p>	<p>場面絵</p>	<p>すぐ返さなかった</p>	<p>二人で一本</p>	<p>場面絵</p>	<p>やくそくやきまり</p>
	<p>自分勝手だった 悪いことをした</p>	<p>かえしておけば よかった</p>		<p>こまっている</p>	<p>めんどうかい ごまかした 一人くらいいい</p>		<p>かりていいのかな</p>	<p>だれでも使える べんりなかさ</p>	<p>やくそく きまりや</p>